

## 初心忘るべからず、最後まで諦めない

江天瑤

私の大学時代の専攻は国際ビジネスです。折角大学に入れたので、自分が本当に興味を持てる分野で研究を重ね、研究者の道に進みたいと、大学二年生の頃から思うようになりました。しかし、大学に入学してから、専攻を変えることを決めるのに時間がかかりました。留学にしても、留学先の選択も迷っていました。最後、日本の大学院に進学することを目標に定め、2017年6月に大学を卒業した後、2017年10月に亜細亜友之会外語学院に入学しました。

私は高校時代からフェミニズム的な考え方を持っていました。この考え方は時間が経つにつれ、だんだん強くなっていきました。「やりたい事というと、やはりフェミニストだ！」と大学三年生の後半に、ようやく自分の本当の気持ちに気づきました。したがって、ジェンダーを専門として研究することは来日前に既に決意したことです。大学院進学への準備は早い段階から始まり、入学試験も来日した直後に準備し始めました。そして、2018年度4月入学の大学院冬入試に挑戦して失敗し、また、2018年度10月入学の夏入試にも失敗しました。更に2019年度4月入学の秋入試に挑戦し、またもや失敗し、合計8校の不合格を出してしまっただけでなく、2019年度4月大学院入学の冬入試でようやく志望校に合格しました。現在、この一年数が月の時間を振り返ると、涙が出るくらいの辛さと、一生忘れない大切な時間を過ごしたことに気がつきました。

そこで、少し自分の経験を話したいと思います。まず、専攻を変えることは決して楽なことではなく、入りやすい専門はおそらくどこにも存在しないと思います。専攻を変える時点で、他人より数倍の努力をしなければならないことを覚悟する必要があります。よって、専攻を変える前提は、その専攻に対して強く興味を持たなければならないと、私は考えています。自分の心を見つめ、自分のやりたいことをきちんと認識し、そして初心を貫き、最後まで努力すれば、成功するかもしれません。失敗を乗り越えるのが決して簡単ではありません。また、落ち込んだりすることもあるかもしれませんが、最後まで諦めずに進んでいけば、必ず良い結果が出ると思います。勿論、今の話は単なる自分の経験ですので、進学は人によってそれぞれです。いかに自分の道を探すかは大事なことだと思います。

最後は、恩師である先生方に私の感謝の気持ちを伝えたいと思います。まず、いつも私を信じ、支えて下さった校長先生、石川先生、と申先生に感謝致します。自分が自分のことさえ疑い、動揺したとき、先生方はいつも通り私を励まして下さいました。今思えば、先生方にご心配をかけたばかりでした。そして、受験に関しても、たくさんお世話になった担任の大澤先生、宮原先生、と岩崎先生に感謝致します。研究計画書の添削や面接練習など、丁寧に指導して頂き、今日の結果は先生方のおかげだと思います。勿論、それ以外も助言して下さいました。励まして下さった先生はたくさんいます。先生方に対し、感謝の気持ちがいっぱいです。先生方と出会い、指導が受けられた私は幸せだと思っています。